

宮城県農業法人協会はゴム製品の製造を手掛ける弘進ゴム株式会社と共同で、同社ブランドの長靴「ZACTAS(ザクタス)」限定色を制作した。エダマメをすりつぶした宮城の郷土料理「ずんだ」色に、伊達政宗の兜の前立てをイメージした三日月をあしらったデザインだ。協会会長の半澤善幸さんは「まだ世の中に農業のかっこよさが知られていない。子どもがあこがれるようなものが完成できた」と話す。

制作の経緯は2025年12月に、協会が主催したセミナーに弘進ゴム代表取締役社長の西井英正さんを招いた際、協会が独自製品の作成を依頼したことがきっかけだ。弘進ゴムが農業団体と商品を共同制作するのは初の試み。西井さんは「既製品にない配色だったが、要望どおりの色合いが出せた」と話す。

協会理事で特命部長として制作に携わった高橋寿巳さんは「長年ザクタスを愛用しており、率直にかっこいい。農業を足元から元気してくれるようなすばらしい出来栄えだ」と太鼓判を押す。

長靴は協会員へ先行販売し、26年内に一般発売を予定している。

26年6月8日に長靴をお披露目した（左から西井さん、半澤さん）



限定色の「ZACTAS」



【記事執筆】 宮城県農業会議